

臨床外科 第22巻 総目次

1967年 (第1号～第12号)

〔外科の焦点〕

食道静脈瘤の外科

杉浦 光雄・坂本 啓介・阿部 秀一
堀 原 一・三 浦 健・小 島 靖
小倉 正久・市原 莊六・豊島 範夫
山崎 善弥・本田善九郎・築瀬 正邦
室井 竜夫・出月 康夫・野 村 満……11(1)

肝癌の早期診断の周辺

菅原 克彦・大野 博通・河野 信博
森岡 恭彦・柏井 昭良・小暮 洋暉
太田 武史・田島 芳雄・松田 道生
三島 好雄・富山 次郎・間中 純也……167(2)

合成代用血管開発の趨勢……田辺 達三……313(3)

最近の術前・術後放射線療法について ……梅垣洋一郎・御厨 修一……459(4)

癌免疫療法の可能性……平松 秀松……611(5)

臓器移植の問題点……稲生 綱政……1063(8)

高気圧酸素治療と外科……榊原 欣作……1201(9)

補助循環—その原理と臨床応用— ……阿久根 淳……1347(10)

不整脈の外科的診療 ……岩 喬・和田 寿郎……1647(12)

〔特 集〕

—鼠径・陰嚢ヘルニアの問題点—

腸壊死—整復の困難な場合の処置は どうすべきか……塩川 五郎……17(1)

鼠径ヘルニア内容腸管の癒着してい る場合の処置はどうすべきか ……村上 治朗……20(1)

陰嚢ヘルニアを水腫と誤つて腸内容 を穿刺した場合の処置はどうす べきか……河石九二夫……25(1)

ヘルニア術後創の化膿した場合の処 置はどうすべきか……前田 友助……28(1)

術後の睾丸萎縮の予防はどうすべきか ……志村 秀彦……32(1)

精糸の切離された場合の処置はどう

すべきか……齊 藤 溥……36(1)

(質疑応答) 小児の先天性鼠径ヘル

ニア……蛭名 勝仁……37(1)

—臨床検査後の偶発症—

気管支鏡による偶発症

……香月 秀雄・山 口 豊……177(2)

腹腔鏡による偶発症

吉岡 昭正・荒牧 長門・沢田 芳博

清水 昭彦……183(2)

胆道検査後の偶発症——とくに胆道

造影法について——

綿貫 重雄・窪田 博吉・和賀井和榮……189(2)

直腸鏡による偶発症

……稲葉 英造・林 孝 行……193(2)

膀胱生検後の偶発症……東福寺英之……197(2)

胃内視鏡による偶発症

島田 信勝・前田 昭二・守谷 孝夫

丸山 圭一・桑野 研司……201(2)

—頭部外傷処置の実際—

意識障害のある場合の見分け方……中村 紀夫……321(3)

開放創のある場合の処置はどうする

か……三河内薫丸・村瀬 活郎……331(3)

脳損傷、脳浮腫のある場合の処置は

どうするか……長谷川 弘……336(3)

頭蓋内血腫の処置はどうするか

……小沢 和恵・高 橋 勝……341(3)

頭蓋骨折の処置はどうするか……竹内 一夫……347(3)

脳神経障害の診断と処置はどうするか

……大野 恒男……352(3)

いわゆる Whiplash injury の処置は

どうするか……伊藤 博治・八木 道之……359(3)

—進行性消化器癌の外科—

胃癌拡大根治手術の理論と実際……陣内伝之助……467(4)

胃癌の脾合併切除について

……梶 谷 鑠・西 満 正……473(4)

膵癌・胆管癌の切除限界点およびそ

の他の治療法……土屋 涼一……480(4)

原発ならびに転移肝癌の手術的治療

の限界……葛西 洋一……485(4)

直腸癌，ことに進行性直腸癌の外科
……………ト部美代志…491(4)

—胆石症手術の問題点—

胆石症手術の問題点……………秋田 八年…619(5)

胆石症手術後の胆石様発作
……………西村 正也・久次 武晴…625(5)

総胆管結石の処置
綿貫 重雄・窪田 博吉・福島 元之…633(5)

良性胆道疾患に対する乳頭部成形術
の適応と手技
横 哲夫・鈴木 範美・根本 猛
高 橋 涉……………639(5)

十二指腸ゾンデの使用経験……………織畑 秀夫…647(5)

黄疸を伴った胆石症の手術適応上の
問題点
松倉 三郎・三 樹 勝・藤島 義一
内藤 委伸・山井 利夫・飯岡 一彦
遠藤 昌夫・和田 治彦・市 川 豊
谷口 恒義・柴 長 儀・清水 淑文
寺岡 資郎・箱 崎 敬……………651(5)

—血管の外科—

血管移植と縫合材料—実地的見地か
ら代用血管と血管縫合糸を検討
する……………井 口 潔・草 場 昭…759(6)

大動脈縮窄症の外科
……………杉江 三郎・田辺 達三…765(6)

四肢動脈閉塞症—とくに交感神経切
除術の再検討—
恒川 謙吾・広岡 仁夫・山本国太郎
毛利喜久男……………772(6)

血管外傷の処置……………白羽弥右衛門・上道 哲…785(6)

動脈塞栓症の外科……………大 原 到・大 内 博…793(6)

注意すべき珍しい末梢血管の疾患
……………阪口 周吉…801(6)

大動脈起始部および上行大動脈瘤の
外科的治療—その問題点につい
て……………浅野 献一・五十川久士…807(6)

血管移植法の新しい試み—とくに自
家腸管遊離移植による食道再建
への応用—
中山 恒明・織畑 秀夫・太田八重子
羽生富士夫・岩塚 迪雄・野本 昌三
御子柴幸男・浜野 恭一・鈴 木 茂
秋田 善昭・今給黎和典……………813(6)

血管外科領域における低分子量デキ
ストランの応用と効果

稲 田 潔・佐藤 昌平・白髭 健朗…823(6)

脳血管撮影の副作用
脇坂 順一・倉本 進賢・渡辺 光夫
馬場 繁行・吉村 恭幸・大仲 良一
李 東 和……………829(6)

選択的気管支動脈造影法—とくにそ
の診断的価値について—
田辺 達三・鮫島 夏樹・磯松 俊夫
早坂 真一・土田日出夫・白石 俊之…843(6)

本邦における大動脈造影の趨勢—特
に合併症について……………前 川 誠…849(6)

閉塞性末梢動脈疾患治療の遠隔成績
藤 田 孟・中野 武彦・鈴木 宗平
伝法 忠夫・相 内 晋……………853(6)

本邦における舌血管腫の統計的観察
—自験例を加えて—
戸谷 拓二・神野 高光・三輪 恕昭…859(6)

Marfan 症候群に伴う心血管異常の
手術について
新津 勝宏・阿 部 実・今 達
村井 正之・岡 村 宏・細井 靖夫
齊藤 春悦……………865(6)

大動脈縮窄症
柴生田 豊・遠藤 邦夫・香 川 謙
陳 文 輝・佐治 公明・富永 忠弘
鈴木 厚生・平井 達郎・荒川 弘道
矢野南巳男……………871(6)

肺動脈 Banding—4 例の経験
小助川克次・猪俣 和仁・牛 田 昇
豊 泉 稔・外山 香澄・岸 一 夫
中山 耕作……………877(6)

上大静脈血栓症の 1 治験例—慢性線
維性縦隔炎—
上 道 哲・白羽弥右衛門・井上喬之
乾 慶 助・福住 弘雄・原 田 繁
上原 信彦……………883(6)

外傷性腕頭動脈瘤に対する代用血管
移植例……………後藤 忠司・大 原 到…889(6)

鎖骨下動脈瘤について
稲 田 潔・中西 正三・妹尾 嘉昌…894(6)

両側に発生せる膝窩動脈瘤の 1 治験
例
加藤 繁次・宇都宮利善・松井 良友…897(6)

術後肺塞栓症とその心電図
……………佐 竹 弘・塩之谷 昌…900(6)

—救急患者の取扱い方—

東京都における救急医療の現状	鳥羽 和博・小 池 昇	912(7)
頸椎・頸髄損傷の救急処置	平 林 洵・宗 近 靖・関 宏	917(7)
四肢外傷の救急処置	鈴木 勝己・磯 見 明	923(7)
四肢骨折の救急処置	本多 純男	929(7)
手の外傷の救急処置	荻原 一輝・大城 力造	937(7)
腎・尿管・膀胱・尿道損傷の救急処置	堀内 誠三	943(7)
熱傷の救急処置	塩谷 信幸	949(7)
肝不全の救急処置	上野 幸久	958(7)
救急外科の麻酔	北原 哲夫	962(7)
腎不全と水分・電解質アンバランスの処置	前川 正信・松永 武三・河西 宏信 甲野 三郎・結城 清之・辻田 正昭 井上 堯司・平林 国男・大 道 彰 早原 信行・中西 純造	967(7)
外科領域における代謝異常の処置	養場 庄一	973(7)
急性消化管出血の対策	石上 浩一・古家 正年	979(7)
術後合併症の救急処置—とくに無尿・鼓腸・肺炎・静脈血栓について—	安 富 徹	989(7)
監察医の立場からみた救急患者の処置	吉村 三郎・並 木 宏	995(7)
—胃・十二指腸潰瘍の手術—		
内科的治療の限界	常岡 健二	1071(8)
癌性変化を疑う場合どうするか	村上 忠重	1073(8)
周辺臓器に癒着している場合どうするか	浜口 栄祐・石塚慶次郎	1078(8)
多発性潰瘍の治療はどうするか	本多 憲児	1083(8)
噴門部に潰瘍のある場合どうするか	田中 早苗・吉 田 宏	1091(8)
大出血をともなつた胃・十二指腸潰瘍の手術はどうするか	紙野 建人・曾和 融生・山辻 英也	1095(8)
貧血の強い場合どうするか	武藤 輝一	1101(8)
胃・十二指腸穿孔のある場合どうするか	飯 塚 積	1105(8)
潰瘍症と胃の切除範囲	中谷 隼男	1113(8)

<アンケート>胆石を発見した場合
どうするか

戸部 隆吉・西村 光郎・上中 省三 1120(8)

—甲状腺疾患の問題点—

中毒性甲状腺腫の内科的治療	鳥飼 龍生・斉藤慎太郎・桜田 俊郎 稲垣喜代司・田山 澄夫	1211(9)
中毒性甲状腺腫の外科的治療	羽鳥 俊郎	1217(9)
甲状腺疾患における自己抗体測定の臨床的価値	伊藤 国彦・西川 義彦・鈴木 琢弥 原田 種一	1225(9)
甲状腺癌の診断および鑑別診断	樋口 公明・堀口 久夫・麻薙 章吾 星 昭 二	1231(9)
甲状腺癌の治療および治療成績	野口 秋人・野口 志郎	1241(9)
いわゆる側迷入甲状腺腫	古屋 四郎・佐 藤 清	1247(9)
甲状腺癌の疫学的問題	釘 本 完・丸地 信弘	1255(9)
<アンケート>単純甲状腺腫は手術すべきか	隈 寛 二・藤本 吉秀・河石九二夫	1265(9)
—イレウスの治療・その困難な問題点—		
教室におけるイレウス死因の研究成果に基づいての治療の実際	松倉 三郎・代田 明郎・三 樹 勝 藤島 義一・内藤 委仲・市 川 豊 清水 淑文・谷口 恒義・柴 長 儀 寺岡 資郎・服部 博之・恩田 昌彦 鎌田 文明・山下 精彦・柴 積 塚原 英之・埴原 忠良・清水 良泰	1357(10)
教室におけるイレウス死因の研究成果に基づいての治療の実際	齊 藤 湊・堀 江 伸・馬越 正通 掛川 功一・西尾 騰五	1363(10)
教室におけるイレウス死因の研究成果に基づいての治療の実際	田北 周平・西島 早見	1369(10)
イレウスをめぐる診断の困難な場合どうするか	葛西 森夫	1373(10)
イレウスをめぐる診断の困難な場合どうするか	四方 淳一・松尾 泰伸	1375(10)
救急手術の方針をたてる場合どうするか	佐 藤 博	1378(10)

救急手術を回避しようとする場合ど うするか	
山本 俊介・伊東 敬之・岡林 義弘	1380(10)
胃切除後の早期イレウスの診断はど うするか	西村 正也・古沢 悌二
1384(10)	
広汎な癒着のある場合どうするか	高山 坦三・早 坂 滉
1387(10)	
機械的イレウスで高度の腸麻痺にた ちいたっている場合どうするか	浜口 栄祐
1390(10)	
結腸癌によるイレウスの治療はどう するか	堺 哲 郎
1393(10)	
乳小児の腸重積症において高压浣腸 の不成功の場合どうするか	村上 治朗
1397(10)	
腸重積症の高压浣腸について	駿河敬次郎
1401(10)	
広汎にわたり腸管に血行障害のある 場合どうするか	瀬田 孝一
1403(10)	
急性虫垂炎に機械的イレウスを併発 している場合どうするか	脇坂 順一・矢野 博道
1406(10)	
イレウス管使用の適応はどうするか	大矢 裕庸
1409(10)	
—肝腫瘍外科の課題—	
肝癌の外科的治療の趨勢	本庄 一夫・鈴 木 敏
1485(11)	
肝癌の発生、肝硬変、病理	宮 地 徹
1493(11)	
肝区域の概念	奥平 雅彦
1500(11)	
肝機能検査法の意義—ことに腫瘍性 変化との関連において—	山形 敏一・涌井 和夫・小松 俊治 真田 昌彦・大里 祐一・上野 達雄
1507(11)	
肝癌の診断—とくにシンチグラムに よる診断—	奥田 邦雄・下 川 泰・薬師寺英邦
1513(11)	
肝癌の診断—切除可能性を中心に—	菅原 克彦・大野 博通・河野 信博 柏井 昭良
1521(11)	
原発性肝癌の外科的治療—とくに手 術成績、予後などを中心に—	葛西 洋一・水戸 迪郎
1527(11)	
消化器癌の肝転移—外科病理の立場から—	陣内伝之助・妹尾 亘明・中田 晴夫
1535(11)	
転移性肝癌の治療—肝切除と化学療 法—	伊藤 一二
1543(11)	
進行性肝癌の治療	土屋 涼一
1551(11)	

肝の良性腫瘍—とくに肝囊胞を中心 として—	
佐藤 寿雄・斉藤 洋一・山内 英生 渡部 健一	1559(11)
小児の肝腫瘍	葛西 森夫・渡 辺 至
1569(11)	
肝切除後の患者管理、再生肝の代謝	玉熊 正悦・小泉 澄彦・大野 博通 菅原 克彦
1575(11)	
肝臓移植の現況と将来	杉浦 光雄・三 浦 健・市原 莊六
1583(11)	
—鞭打ち損傷の問題点—	
いわゆる鞭打ち損傷の発生機序なら びに損傷機転	池田 亀夫・小林 利昭
1655(12)	
鞭打ち損傷の症状と診断	鈴木 次郎
1661(12)	
いわゆる鞭打ち傷害—特に急性期、 亜急性期の治療—	伊丹 康人・三好 邦達・片山 国昭
1671(12)	
鞭打ち損傷—特に慢性期の治療—	津山 直一・林 浩一郎・竹 広 舜 都築 暢之
1677(12)	
鞭打ち損傷—耳科の立場から—	檜 学
1683(12)	
鞭打ち損傷—脳神経外科の立場から—	大野 恒男
1691(12)	
いわゆる鞭打ち損傷と神経症につい て	太田 幸雄
1699(12)	
鞭打ち損傷の障害認定	小菅 真一・小川 靖夫・岡田 守功
1703(12)	
〔ゲラフ〕	
乳癌の全乳房大切片標本と乳房レ線 像について	川島 健吉・高 橋 勇・伊藤 久寿 高田 貞夫・井上 善弘・岩淵 正之 林 和 雄
5(1)	
腹腔造影法	佐 藤 博・大坪 雄三
161(2)	
脊髄損傷に対する新治療法	山田 憲吾・井形 高明
305(3)	
進行乳癌の動注法による治療	坂内 五郎
453(4)	
胆石症の超音波診断法	和賀井敏夫・大 橋 尚・高 橋 駿
605(5)	
血管外科における血管撮影手技と読 影—手術適応を中心に—	三島 好雄
749(6)	
脳鏡の臨床	尾形 誠宏
1057(8)	
甲状腺癌の転移巣の病理	占屋 四郎・佐 藤 清
1195(9)	
イレウスのX線単純撮影像の読影に 難渋する場合どうするか	

大内 清太・柴田 晋・鈴木 行三	1341(10)
新生児外科におけるX線診断一特に	
先天性小腸閉塞について一	山内 逸郎
1641(12)	
〔論 説〕	
上部胃癌の検討	
ト部美代志・山本 恵一・竹森 清和	
三浦 将司	41(1)
横隔膜ヘルニアについて	
片岡 一郎・蟹江 弘之・桜井 凱彦	
大矢 裕庸	51(1)
胸部大動脈疾患の手術成績	
上 野 明・若林 明夫・丸山 雄二	
栗根 康行・根本 晴・多田 裕輔	
関 正 威・村上 国男	61(1)
甲状腺癌の外科的治療成績	
降旗 力男・牧内 正夫・山口 智安	
飯田 昭平・折井 孝雄・丸山 智道	69(1)
肝部下大静脈閉塞症 13 例の検討	
小倉 正久・阿部 秀一・市原 莊六	
本田善九郎・室井 竜夫・野 村 満	
杉浦 光雄	74(1)
Fallot 氏四徴症に対する Blalock-Taussig 氏手術の遠隔成績一と	
くにその経年的変動について一	
阿部 稔雄・福慶 逸部・弥政洋太郎	
佐 藤 清・落合慎一郎	221(2)
小児縦隔腫瘍の特徴と診断について	
志村 秀彦・馬渡 康郎・古賀 明俊	229(2)
前斜角筋症候群	大河原重久
239(2)	
Evisceration の発生と予防	好 地 衛
247(2)	
イレウス時における胆汁の病態生理	
学的意義について	
松倉 三郎・代田 明郎・三 樹 勝	
富田 一男・内藤 委仲・服部 搏之	
恩田 昌彦・山下 精彦・柴 積	
加藤 裕康	383(3)
Brain scanning による頭部外傷診断	
への応用	
永 井 肇・早川 良平・小林 達也	
星 川 信	393(3)
西ドイツにおける閉塞性動脈硬化症	
の臨床的考察	阪口 周吉・山田 公雄
502(4)	
僧帽弁交連切開術後の脳栓塞および	
その新しい防止法の提唱	
別府 俊男・荒井 康温・山口 豊栄	

後町 浩二	511(4)
小児の腸管重複症について	
綿 貫 喆・渡辺 暉邦・高田 準三	
篠崎 俊一・塩塚 瑛子	516(4)
低体温法による乳幼児心室中隔欠損	
症の開心根治手術一手術成績	
と適応一	
堀内 藤吾・小山田 恵・本田 健夫	
石戸谷 武・阿部 忠昭・佐川 安彦	
松村 光起・石川 茂弘・石沢 栄次	
齊 藤 裕・松本 俊郎・田中 茂穂	521(4)
腰椎麻酔後頭痛症に対する副腎皮質ホ	
ルモン療法	城後 昭彦
527(4)	
乳癌の病期分類についての提案	
島田 信勝・天晶 武雄・榎本 耕治	
嶋田 貞博	671(5)
肺癌患者における ¹³¹ I-MAA Pulmo-	
gram一治療前後の肺動脈血流	
比について一	
小山田日吉丸・米山武志・砂倉 瑞良	
尾形 利郎・渥美 暁子	677(5)
Cystic Duct Syndrome	
富田 濤児・植 草 実・堀 内 弘	
遠 藤 巖・米山 桂八	685(5)
ガンマ・グロブリンによる癌治療	
田中 早苗・折田 薫三・武田 淳志	1123(8)
肝内胆石症の外科的治療の検討	志村 秀彦
1133(8)	
消化性潰瘍 469 例についてのアンケ	
ートによる術後遠隔成績	
白鳥 常男・塚 本 長・菅原 俠治	
黒 田 俊・関 根 毅・岡林 敏彦	
長 岡 謙	1145(8)
脳幹腹側部病変に対する Transpharyn	
geal Approach について	
佐野 圭司・寺尾 栄夫	1267(9)
乳幼児にたいする腰・全合併麻酔の	
臨床的検討	
守屋 荒夫・田村 重宏・山登 淳伍	1273(9)
心臓手術における自己血輸血	
砂田 輝武・寺 本 滋・志 水 浩	
河 合 進・大本武千代・妹尾 嘉昌	
平井 淳一・佐藤 温三	1415(10)
“Glue Appendectomy” 300 例の	
経験について	
檀 上 泰・宮川 清彦・田中 信義	
佐藤 知義・石塚 玲器・佐々木英制	

福本 徹……………	1421 (10)
各種縫合糸の比較—とくに高純度ポリビニルアルコール (PVA) による吸収性縫合糸を中心として—……………	秋山太一郎…1615 (11)

胃切除後の骨病変	堺 哲郎・番場 道夫・庭山 昌明…1711 (12)
----------	----------------------------

破傷風の予防接種と予防治療についての諸問題	
桜井 信夫・丹 羽 章・新納 光麿	
窪 谷 勝・植松 典昭・永井 吉郎	
越後貫 博・高山 直秀・藤塚 光慶	
星 野 聰・堀川 義文・鳥居 敏明	
千葉 弥幸・藤代 国夫・橋詰 定明	
鈴木 祥司・古川 玄正……………	1721 (12)

〔講座〕

外科医のための心電図入門 (1)	
腹部手術の際の Viscero-cardial Reflex……………	難波 和…278 (2)

外科医のための心電図入門 (2)	
虚血性心疾患の予知と対策〔1〕……………	難波 和…418 (3)

外科医のための心電図入門 (3)	
虚血性心疾患の予知と対策〔2〕……………	難波 和…563 (4)

頭部外傷後遺症の治療<その1>	
慢性硬膜下血腫の場合	
景山 直樹・中島 正二・白井 鎮夫	
田 中 衛……………	1032 (7)

頭部外傷後遺症の治療<その2>	
に cervical syndrome を中心に	
景山 直樹・田 中 衛・池田 公行	
頼 国 壤……………	1171 (8)

頭部外傷後遺症の治療<その3>	
脳および脳神経挫傷の後遺症の場合	
景山 直樹・池田 公行・中島 正二	
小 津 泰……………	1304 (9)

リハビリテーションの基礎知識 1.	
四肢骨折のリハビリテーション……………	吉田 一郎…1439 (10)

リハビリテーションの基礎知識 2.	
対麻痺のリハビリテーション……………	吉田 一郎…1623 (11)

リハビリテーションの基礎知識 3	
------------------	--

片麻痺のリハビリテーション……………	吉田 一郎…1763 (12)
--------------------	-----------------

〔症 例〕

巨大な両側慢性硬膜外血腫の1例	
-----------------	--

泉 周 雄・渡辺 正幸・玉城 通弘…121 (1)	
過外転症候群について	
高岸 直人・田丸 卓郎・国本 易径	
大 谷 武……………	124 (1)

特発性膀胱破裂の1例	
鷺尾 正彦・桜井 淑史・清水 好男	
金 井 弘・岩崎 敏介……………	127 (1)

Ebstein 氏病の1例	
星野 俊一・菅場 定次・渡辺 徳夫	
八子 柳一……………	132 (1)

脾膿瘍の1治験例	
奥山 宣夫・田口 雄一・金子 裕	
岡本 源八・中尾 純一……………	283 (2)

重症筋無力症の1手術例	
本 山 登・阿部 富男・斉藤 洋…287 (2)	
特異な経過をたどる先天性肥厚性幽門狭窄症	

松浦雄一郎・堀川 嘉也・梶本 照徳…431 (3)	
Barsony 氏病の3例	
……………志 羽 孝・小林 茂信…437 (3)	

いわゆる“脈なし病”(大動脈弓症候群)に対する手術経験	
湯 浅 浩・新実 藤昭・山際 晴紀	
西 村 誠……………	573 (4)

巨大な腸間膜囊腫を伴うイレウスの1治験例	
佐々木雅彦・片野 素道・土橋 正邦…578 (4)	

第1肋骨骨折について—その1症例と本邦報告例の統計的観察—	
島谷 信人・広恵 俊雄・三宅新太郎	
毛 利 宰・森下 和郎……………	581 (4)

肋骨に原発した Ewing's tumor の1例	
兼行 俊博・石田 益偉・小 原 正	
田村 陽一……………	729 (5)

Hindquarter Amputation の3例について	
木村 千帆・堀尾 慎弥・松岡 満	
大宮 和郎……………	733 (5)

猫ひつかき病の1例	
……………奥 村 堯・稲川 勝義…1039 (7)	

熊による咬傷 4 例	八重樫定夫	1043 (7)
巨大な皮膚腫瘍をともなつた Recklinghausen 病の 1 例	伊藤 秀芳・高木 俊男・霜 礼次郎	1179 (8)
びまん性中毒性甲状腺腫に合併した潜在性甲状腺癌	稲垣 秀生・大沢 智昭・菊 地 勉	
鈴木雄次郎		1319 (9)
自己免疫性甲状腺炎を伴つたバセドウ病に Sjögren 症候群を合併した 1 例	岡 厚・藤本 吉秀・内田 久則	1325 (9)
先天性食道狭窄症の 1 例	小西 昭男	1331 (9)
回盲部好酸球性肉芽腫の 1 例	堀田 猛雄・初鹿野高好・小西 義男	1467 (10)
原発性胃癌と胃潰瘍併存の 3 症例について	大同礼次郎・鹿 野 実・広谷 謙一	
西尾 義典・船田 三昭・大橋 一郎		1471 (10)
兄弟にみられた Osteopoikilie の症例	小泉 正夫・芦沢 哲也	1769 (12)
耕耘機による外傷より発生したガス壊疽 3 例	若菜 一郎・日比 成夫・小崎寿美男	
井戸 政博		1775 (12)

〔トピックス〕

ガンによる胃切除の場合の機械縫合	P. I. アンドロソフ	84 (1)
特発性食道拡張症の治療—小腸または結腸 Patch 移植—	秋 山 洋	254 (2)
肝臓の超音波断層写真による診断	尾本 良三	397 (3)
急性膵炎における神経因子の再認識	尾 河 豊	537 (4)
新型伸縮包帯について	藤田 五郎	699 (5)
心筋収縮力を増強するペースメーカー	三井 利夫	1155 (8)
脳神経外科学会の「認定医」発足へ	編集室	1287 (9)
呼吸数と心拍数	堀 原 一	1457 (10)
ショックにおける循環系の反応様式	鰐淵 康彦	1608 (11)

〔学会印象記〕

実りの多かつた消化器領域の 3 学会	上垣 恵二	255 (2)
--------------------	-------	---------

第 25 回癌学会総会	小 林 博	402 (3)
第 4 回日本癌治療学会総会	三 輪 潔	542 (4)
<第 17 回医学会総会印象記>		
脳外科領域	東 徹	1012 (7)
胸部外科領域	上 野 明	1014 (7)
小児外科領域	植 田 隆	1016 (7)
人工臓器と臓器移植	稲生 綱政	1018 (7)
整形外科領域	桜 井 修	1020 (7)
第 1 回肝癌研究会	菅原 克彦	1159 (8)
第 4 回日本小児外科学会総会	森 田 建	1294 (9)
第 16 回東日本臨床整形外科学会	坂 口 亮	1606 (11)
第 29 回臨床外科医学会	村 田 勇	1738 (12)

〔海外だより〕

アメリカにおける小児外科	加藤 幸一	86 (1)
Tufts-New England Medical Center を中心として	田辺 達三	262 (2)
Massachusetts General Hospital における冷凍血液の現況	隅田 幸男	398 (3)
無言の刺激—Mayo Clinic の組織と resident—	有森 正樹	538 (4)
滞独雑感	山田 公雄	702 (5)
活発な対話と討論	北条 慶一	1157 (8)
The Society for Vascular Surgery (1)	新井 達太	1290 (9)
Montreal Neurological Institute の思い出	松岡 成明	1453 (10)
The Society for Vascular Surgery (2)	新井 達太	1602 (11)
ウィーンとバルセロナの学会から	三島 好雄	1734 (12)

〔患者と私〕

誠心誠意事にあたる	東 陽 一	88 (1)
ゴルフの友はかつての患者	河村 謙二	259 (2)
患者の身に自分をおいて	中村 徳吉	400 (3)
やあ貴方でしたか	秋谷 良男	540 (4)
仁術は現存する	三宅徳三郎	704 (5)
一期一会	宮崎 五郎	1288 (9)
前車の轍	阪本 亨吉	1448 (10)
生甲斐	杉原 礼彦	1600 (11)
治療の第一歩	田村 春雄	1732 (12)

〔手術手技〕

胃切除術六題(その 2) 十二指腸潰

瘍に対する Billroth-I 法 (中山 法) ……………中山 恒明・織畑 秀夫…101(1)	腫瘍酵素組織化学…………小野 哲生…1163(8)
胃切除術六題(その3) 胃癌に対す る手術 (Billroth-I 法) ……………中山 恒明・織畑 秀夫…271(2)	血清型因子……………鈴木 達男…1164(8)
胃切除術六題(その4) 単純性胃全 剝術……………中山 恒明・織畑 秀夫…413(3)	心電図と5人の読み方……………難 波 和…1296(9)
胃切除術六題(その5) 胃全摘脾 肝合併切除…………中山 恒明・織畑 秀夫…557(4)	慢性病の管理……………吉川 政己…1452(10)
胃切除術六題(その6) 一時的胃瘻 造設の方法と効果 ……………中山 恒明・織畑 秀夫…715(5)	誤 診……………木村 栄一…1526(11)
気管切開の実際…………新井 達太・小 柳 仁…1027(7)	写真で見るリハビリテーションの実際 ……………天児 民和…1582(11)
小児腸重積症の治療……………武藤 輝一…1427(10)	“Engineering in the Practice of Medicine”……………堀 原 一…1605(11)
慢性硬膜下血腫の手術……………永 井 肇…1756(12)	“Lehrbuch der Chirurgie 5 Aufl.” ……………村上 忠重…1614(11)

〔他科の知識〕

外科臨床における心身医学…………小此木啓吾…107(1)	新生児学叢書……………馬場 一雄…1720(12)
災害神経症の治療……………佐 野 新…725(5)	臨床X線診断学……………高橋 信次…1737(12)
最近の麻酔……………岩月 賢一…1313(9)	写真で見るリハビリテーションの実際 ……………佐々木智也…1741(12)
小児泌尿器の外科……………辻 一 郎…1433(10)	

〔検査法〕

経皮経肝胆道造影法……………植 草 実…719(5)

〔座談会〕

代用硬膜材の使い方をめぐって 桑原武夫(司会)・宮崎雄二・高田育郎 戸谷 重郎・志沢 寿郎・佐藤 文明 平井 秀幸・早 川 勲……………137(1)	
腹膜癒着の防止はどうするか 田北 周平・脇坂 順一・足立 春雄 榊原 幸雄・斉 藤 湊(司会)……………365(3)	

〔鼎 談〕

第3回世界消化器学会議を聞き語る 大 井 実・村上 忠重・中谷 隼男…206(2)
--

〔書 評〕

超音波医学—基礎から臨床まで— ……………青柳 健次…100(1)	
外科の夜明け……………斉 藤 湊…547(4)	
Atlas of X-ray Diagnosis of Early Gastric Cancer……………今 井 環…548(4)	
血液型学……………吉村 忠一…548(4)	
ポケット医学英和辞典……………吉 利 和…713(5)	
超音波医学……………大島 正光…714(5)	
超音波医学……………吉田 常雄…1011(7)	

〔症例検討会〕

胆石症を疑った胆嚢癌 ……………東京女子医科大学消化器病センター…112(1)
--

〔ニ ュ ー ス〕

外科と Blood Flowment ……………堀 原 一・鰐淵 康彦…706(5)

〔追 悼〕

移植と2人の科学者、故篠井金吾教 授を偲んで……………辻 公 美…90(1)

〔雑 感〕

内科小児科開業医と外科との関係 ……………広瀬 正義…92(1)	
餡餅瘰と蕁麻疹……………林 富士馬…93(1)	
内科一般医 (GP) の窓から……………渡 辺 亮…261(2)	
インターン問題と卒業後医学教育 ……………織畑 秀夫…406(3)	

〔カンファレンス〕

肝硬変か、肝癌か 小 島 憲・平福 一郎・林 裕 太 田 怜・上野 幸久・森永 武志 中村 哲也・佐藤 亮五・前原 義二…509(4)
--

〔外国文献〕

94(1), 108(2), 407(3), 549(4), 708(5), 1022(7), 1166(8), 1298(9), 1459(10), 1610(11), 1742(12)

〔インタビュー〕

中村紀夫氏に聞く……………1450(10)
